

行者山北麓コース

大高竜亮

◇京都府 No.4

◆JOA公認 No.109

◇8km 10 ポスト

京都府 No.4「千代川」コースが 99 年にリニューアルされ、新たに誕生したのがこの「行者山北麓」コースです。亀岡市にある山陰本線千代川駅前をスタート地点とするこのコースは、公認 No.109 というパーマネントコースの黎明期に開設。しかし、10 年経過した頃から長らく休止の状態となり、96 年に待望の復活を果たしました。この時は古い国土地理院のマップをそのまま流用し、コースも開設当初と全く変わらず、ポストのみ更新されての再開でした。このタイミングで踏破する機会があり、今回は 6 年半ぶりの再訪となりました。

名称も変わり、大幅にコースも変更され、新設コースに挑む気分です。千代川駅前には京都府らしくしっかり管理された案内板があり、8km のロングコースと④～⑦を省略した 5.2km のショートコースのマスターマップが掲示されています。改訂された O-MAP は駅前「Cafe 路花」で扱っていますが、営業は平日のみのため、同じ駅前の「本家かまどや」という弁当屋でも入手することができます。地図を見るとスタート地点の千代川駅がエリアに含まれていません。そこで、一緒に手渡されるのが「行者山北麓パーマネントコース補助図」という 1 色刷りの簡易地図。地図エリア東端の「丹波縦貫道」と千代川駅との往復はこれを頼りに歩くこととなります。また、この補助図には「アタックされる方へ」という表題で、コースの解説が添えられています。全国のどのパーマネントコースも利用者に対してこのように優しく接していれば、今のような人気の凋落もなかったのでは…。

生まれ変わったコースは名勝・旧跡といった観光的な要素を一切排除して、ルートチョイスなど OL 本来の楽しみを満喫できる設定になっています。パーマネントコースとしては中～上級向けと言えるでしょう。第 1 ポストへは補助図に従い、千代川小学校の横を抜け、見通しの効く耕作地を丹波縦貫道に向かって西へ進みます。道路の高架下を

くぐると、真新しいポストが姿を現します。

第 2 ポストからは OL らしい山道の連続。山裾に密集する集落を見ながら、山への入口を探します。細かな分岐を丁寧にひろいながら急な坂道を上り詰めると、名もなき小さな神社に到着。ポストは境内の裏に置かれています。

第 3 ポストまでは様々なルートが考えられる区間です。私は尾根のひとつ南のルートを西に向かいました。地図上では尾根筋のルートが途中で切れていたためですが、私が選んだ小道は倒木が多く、やや歩きにくさを感じました。合流した尾根道が明瞭でしたので、こちらが正解だったかもしれません。徐々に高度を稼ぎ、等高線に沿った緩やかな道になると、ポストはもうすぐです。ここは道端ではなく、林を下ったところにある岩の前に設置されています。林の通行可能性は良好で、足取り軽く下っていけるでしょう。

第 4 ポストへもそのまま道のない林をさらに下り、広い道路へ出ます。緩やかな下り坂の上に開放的な林に囲まれた一帯で快適そのもの。ほどなく大池が姿を現し、ほとりを半周した北西端でポストに到達。千代川コース時代の第 6 ポストは、北東端に設置されていました。家族連れの場合、ここで弁当休憩をとるのも良さそうです。

一旦北に下ってから、南西へ登る小径を見出します。ここも明瞭な道に出るまでは半ば崩れた箇所や下草の繁茂の激しい耕作地の間を抜けるなど、冒険心を掻き立てられます。広い道から再び尾根越えの小径に入り、耕作地に

出る手前の分岐に第 5 ポストはあります。

山から抜け出し、東の間視界のひらけた耕作地帯を歩きます。コース中間点で折り返し、東に向かうと第 6 ポストは小さな池の近くで確認できます。

第 7 ポストはこのコースの最高地点。行者山に直登する山道を登り詰めます。道のハッキリしない疎林を抜けると分岐にポストが立っています。

このまま真南へ登って行くと標高 431m の行者山山頂ですが、OL コースはここまでで、東へと下ってしまいます。一気に駆け降りると、第 3 ポストの西側を通る道路に到達。千代川コースの第 5 ポストがあった地点を過ぎ、さらに上り詰めた分岐に第 8 ポストがあります。

第 9 ポストは私にとって思い出深い場所。千代川の第 4 ポストがあった正にその場所に設置されているのですが、96 年に回った際、古い地図で現在位置をつかみ損ね、2 時間も悪戦苦闘してようやく到達したところでした。今回は一本道を下るだけであっさり発見しました。

丹波縦貫道まで下ってくると、最終ポストは道端で呆気なく見つかります。駅までは再び補助図を使ってゴールです。

今回改訂された地図には通行可能性も加えられ、OL の上級者も十分にたのしめるコースになりました。京都市街から交通至便のところ。本格派コースに是非挑戦してみてください。

(2003 年 3 月 2 日踏破)

